

日時 平成22年7月12日(月) 18:30～21:00
場所 登別市市民活動センター 2階 会議室
出席者(役員) 木村義恭 合田美津子 大山口光男 平田和弘 川田弘教 *和田浩一 平田誠治
田中寛治 関修 瀧川正義
(事務局) 沼田久人 (*:欠席者)(敬称略)

審議・確認事項

1. 会長より

- (1) 本日の会議趣旨は取組案件の検討であり、事前に検討資料として「案件抽出シート」を配布した。皆さんから提出された内容を意見交換したい。
また、自治推進委員会(以下:本会)の活動成果を検証し、取組内容を市民へPRして、多くの参画を得ることが大切である。
- (2) 役員会の進行について
司会については、当面(6ヶ月)、会長が勤めるが、徐々に輪番制で行うことにしたい。
議事録作成は輪番制とする。最初は「瀧川」が作成し、以降は司会者を除く標記の出席者の順とする。なお、手書きの議事録は協力し合って電子媒体とする。
- (3) 事務局の取り扱い
今までのように、テーブルを別席にしない。同じ仲間として意見を出していただきたい。
市職員として、発言内容に都合が悪いことがあれば配慮したい。

2. 審議内容

(1) 自治推進委員会の取組について

本会のPR方法

- ・ 活動内容のPR手段
 - ・市のホームページの活用。
 - ・広報誌の活用
 - ・新聞(室蘭民報・北海道新聞)の活用
 - ・市民活動センター「のぼりん」通信の活用。
 - ・本会で広報誌を刊行する。
- ・ 情報の作成方法
 - ・広報担当者の設置(原稿は提出元が作成ことが原則)
 - ・市民リポーター制度みたいな形を取る。
 - ・特集を組んで目的物を作成する。
 - ・市民自治推進委員会への要望事項をアンケートする。
 - ・見直し後の本会のPRを市民に行い、新しい会員募集の案内を行う必要がある。
 - ・市広報で行うには、最短で発行月の前月の5日。
8月中にまとめ、9月5日に提出し、10月号に掲載したい。

(2) 「案件抽出シート」を元に説明。

< 資料あり >

大山口	事業仕分けの検証 本会の権限付与
合田	自治推進理念の土壌づくり
平田(和)	市民自治の体系構築
瀧川	本会の総合計画策定 協働のまちづくりの具体化
関	事務事業の外部評価活動
川田	緑化条例(引き続き)

(3) 意見交換

1) 事業仕分けの検証について

- ・事業仕分けには、本会から第1回(H21)4名、第2回(H22)1名参画。
- ・外部評価は本会で成果を出せなかった。
- ・現在は試行期間。いつまでかは不明。
- ・本会の新体制で事業仕分け案を提案できるか。
気をつけなければならない点は、圧力団体になってはいけないことで意見一致。

2) 登別に「自治を問う」を紹介。合田:内容省略。

3) 今後の取上げるテーマを整理

	推進可否	リーダー	備考
全市観光		川田	・引き続き検討を実施し、 提言までまとめる
事業仕分け		関、大山口	・瀧川も参画
自治推進理念の土壌づくり		合田	・前フォーラムの評価決着
本会の総合計画	×		・内容が大き過ぎる
本会の広報推進		未定	・10月発行が目標

4) 議会条例について

- 「市民の責務」が載っているが、本会で検討する必要はないのか。
- パブリックコメントは6月30日で終了。
- 条例のポイント内容はなにか。また、今頃策定する必要があったのか、誰も答えられないので、議員に説明をお願いするのと一緒に意見交換をしたい。

次回 役員会開催予定

平成22年8月24日(火) 18:30~20:30

以上